



## 長崎県内に住んでいる者としては 一生に一度の祭典ですから。楽しみです

7月10日から、日本のうたごえ祭典 in 長崎のチケット販売（ブリックホール音楽会、アリーナ大音楽会）が始まりました。初日には、「自分は演奏で忙しいかもしれないけど、家族や親せきの人たちには、うたごえの素晴らしさをよい席で聞いてもらいたいから」と、諫早をはじめ県内各地から事務所に駆けつけたり、問い合わせの電話が続きました。この日は約200人の指定座席（ブリックホール=15日）が埋まりました。（写真）18日現在では約350席です。



しかし、10月16日のアリーナ大音楽会は、まったくこれからの状況です。うたごえ協議会の合唱団をはじめ、実行委員会の諸団体に大至急でチケット普及のお願いを進めていますが手が足らず、事務局はパニック状態。ぜひ力をおかけください。

### チケット購入者の 声

チケットを手にした人たちからは、「日本のうたごえ祭典が始って約60年ですね。長崎に住んでいる者にとっては一生に一度のチャンスですから。楽しみです」（男性）「池辺先生や浅井先生の指揮で歌ったり、踊りやオーケストラもいっしょに楽しめる音楽会なんて初めてです。歌を覚えるのはきついですけどね」（女性）「プログラム見たら、すごい人たちが出られるんですね。今だったら仕事のやりくりもできそうです」

18日を「第一回チケット普及日」と決めたMさん。「これまでノートに書きとめた名簿に沿って行動開始。前日分と合わせて9枚を買っていただきました。ちなみに夫は4枚でした。暑くて疲れました」。でもそのあとのビールは超うまかったとか。

被爆65年を記念する「日本のうたごえ祭典 in 長崎」は、開幕まで3か月を切りました。運営委員会では、「みんなでつくる音楽祭典」にふさわしく、祭典準備の全体の動きをできるだけ多くの人に知っていただき、祭典成功への知恵と力をお貸しいただくことを願って「日本のうたごえ祭典 in 長崎」ニュースを発行することにいたしました。  
取り組みの内容や祭典への期待の声、苦労話、質問などを掲載して祭典のイメージを広げたいと思います。  
（運営委員長 田中實）

## かつてないすばらしい企画 多くの人たちと、感動を分かち合いたい。

長崎で初めて行われる、うたごえの全国祭典！！

チラシもできあがり、券の販売も始まり、準備は着々とすすんでいます。私はどうやって券を買ってもらおうかと、頭を悩ましています。でも、胸を張って訴えられることはブリックホール（10月15日）、アリーナ（16日）のどちらも、内容の充実した素晴らしい企画だということです。

池辺先生が指揮にも作曲にも参加され、合唱連盟の浅井理事長がタクトを振られる大音楽会というのはすごいことだと思います。16日には、地元の高校生のオーケストラで、「平和の旅へ」を1000人（最終章）で歌い、しめくくりは一人署名活動の高校生といっしょに「一本のペンで」を歌うのですから、最高ですよ。



私が、いままでに見てきて、全国のうたごえ祭典でいただいた感動を、ぜひたくさんの長崎の人たちにも味わっていただきたいのと、30人以上の普及を目標に、多くの人に声をかけています。

特に16日のアリーナでの演奏会に期待しています。多分いままででない最高の舞台になるだろうと思っていますから。大きな感動を分かち合いたいですね。

母さんコーラス樹・是枝 朝子

### 今週の主な予定

- 20日（火）  
御神楽練習会
- 21日（水）  
御神楽練習会
- 22日（木）  
・女性のうたごえ  
6時半・生き生き広場
- 23日（金）  
・運営委員会  
6時半・事務所
- 24日（土）  
・九州合唱講習会・阿蘇  
9時頃・駅前出発
- 25日（日）  
・九州合唱講習会・阿蘇  
（加藤先生指導）  
20時頃長崎帰着
- 26日（月）
- 27日（火）  
・干潟の詩練習会  
13時・ガスホール
- 28日（水）  
・山里小練習会 10時  
同校内原爆資料会館  
・「虹」小児科コンサート

あなたはプログラムのどこに注目??

# 被爆65年、地元と全国の合唱団がひとつの舞台に

10月16日(土) 午後4時15分開場・5時開演

## 大音楽会(フェスタ)の主なプログラム (順不同)

県立総合体育館(アリーナかぶとがに)

### 郷土のうたとおどり

- ▼ ♪海のお囃子 和太鼓 30 台の共演
- ▼ ♪龍踊り 赤い龍が舞う、女子高生 30 人の舞台
- ▼ ♪稔りの御神楽

### 全国の階層別のうたごえが響きます

- ▼ ♪折り鶴 ♪かけがえのない人生 (高齢者・被爆者)
- ▼ ♪花をおくろう/五月の歌 ♪アンジェラスの鐘 (女性)
- ▼ ♪歩いていこう ♪世界は一つになるまで (青年)

### ゲスト~ウクライナの歌姫・ナターシャ・グジーさんとともに

- ▼ 山里小学校の児童が、原爆の犠牲になった子どもたちの声なき声を伝えます。  
♪あの子 ♪ねがい

### 会場のみなさんといっしょにうたうコーナー

- ▼ 九州のうたごえ喫茶が大集合 楽しくリードします

### 地元合唱団と、全国のうたごえ合唱団がひとつの舞台に

- ▼ 混声合唱 青い地球を残したいとの思いを美しい旋律にのせて  
♪「青い地球を」 ♪「木を植える」
- ▼ 全日本合唱連盟の浅井敬壹理事長指揮による  
ぜったいに聞き逃せない、500 人の混成合唱です  
組曲「悪魔の飽食」より ♪赤い支那靴  
♪君よ、目を凝らしたまえ  
組曲「土の歌」より ♪大地讃頌

### 被爆65年 ナガサキの想いを発信します

- ▼ 渡辺千恵子さんの半生を、語りと合唱でつづります  
♪「平和の旅へ」 最終章は 1000 人の大合唱です

### エンディング

全員合唱 高校生一万人署名活動からうまれた ♪一本のペンで



ナターシャ・グジーさんと楽器・ハンドウーラ  
撮影：広河隆一



「平和の旅へ」の練習風景

## 「長崎祭典」の舞台 ここが魅力

「太陽と大地の恵み」への感謝の気持ちを表現するために、豊作の喜びをからだ全体で表し、きつくて最後まで満面の笑顔を溢れさせて踊りきります。  
太鼓の荘厳な響きとスピード、息づかいを生る演奏で堪能してください。(座・民舞 水田泰入)

「稔りの御神楽」は、海の恋人でもある山の幸に感謝し、豊作を祈願する祭りの舞踊です。大地を強くふみしめ、退り(すさり)、大地にいのちをもらって跳びはねます。  
四方を海に囲まれた日本では、豊漁を願い、宝の海に感謝する祭りや行事が、あちこちにぎにぎしく行われます。「いのちの源・母なる海よ、いついつまでも豊かであれ」との願いを込めて、気持ちを合わせて太鼓を打ち込みます。

長崎では、いまペーロン大会の季節です。地域での予選を勝ち抜き、決勝は長崎港での大舞台です。大音楽会(アリーナ)の開幕を飾る「海のお囃子」は、曲の冒頭からペーロン用の太鼓とドラをいれ、緩やかな演奏でスタートを待つ雰囲気表現します。しかし、ターンした後の後半では、太鼓の打ち手は立ち上がり、最高のスピードを求めて打ち込んでいきます。



♪海のお囃子・稔りの御神楽  
豊漁と豊作の喜び  
和太鼓にのせて